

令和3年6月

第二回定例会

経済委員会資料

農水局

農業委員会

見直しの目的

- 本市ではこれまで、市民の命と健康を守り、一日も早く元の生活を取り戻していただくため、感染症の拡大防止と地域経済への影響を最小限に食い止めることを最優先課題として取り組んできた。
- このような状況の中、第4波の感染急拡大やワクチン接種の本格化に伴い、感染症対策に係る人員体制の強化を図ってきたところであるが、今後も市民へのワクチン接種を円滑に進めながら、感染の再拡大や地域経済の回復等に迅速に対応することを想定すれば、更なる財源と人的資源の確保が必要。
- こうした認識のもと、引き続き、感染症対策に最優先で取り組むためには、すべての事務事業について見直しを行い、財源と人的資源の確保を図る。

見直しの考え方

財源確保の観点から行う見直し

- 実施時期等を再点検し、年度間での調整が可能な事業は先送りとする。
- 新規・拡充については、コロナ禍における事業効果等を再点検する。
- 継続事業についても、事業効果等を見極めつつ厳選の上、実施する。
- イベント等は、規模や実施時期を精査し、必要な見直しを行う。

人的資源確保の観点から行う見直し

- 左記の対応を踏まえた上で、事業の優先度等について再点検し、感染症対策への更なる人員のシフトを見据える。
- 予算を伴わない事務事業についても、同様の観点で見直し、更なる人員の確保を図る。
- 継続事業についても、業務時間短縮を図ることを念頭において、業務効率化を進める。

今後の予定

- 予算を伴う事務事業の見直しについては、令和2年度と同様、第三回定例会において補正予算案として 3 提案する予定。

【現状（5月21日現在）】

- 農業への影響について、経済連、JA、市場等の関係機関へ聞き取り調査を実施。
- ・市の主要品目の野菜（すいかを含む）や果実の価格は全般的には堅調に推移している。
- ・花きについては、概ね平年に近い単価で推移。4月に入ってからも切り花全体としては平年値を上回っているものの、一部主要品目において単価低迷がみられる。
- ・メロンについては、生育がよく大玉傾向となり出荷量が増えたため若干単価が落ちている。
- ・牛肉（和牛）は、巣ごもり需要の影響もありスーパーでの販売が比較的堅調。

品目		令和2年3月～7月までの累計	12月	1月	2月 ※2	3月 ※2	4月 ※2
花き※1	カスミノウ	80円/本(前年比101%)	78円/本(前年比71%)	71円/本(前年比80%)	47円/本(前々年比71%)	87円/本(前々年比108%)	64円/本(前々年比90%)
	トルコギキョウ	156円/本(前年比92%)	176円/本(前年比98%)	168円/本(前年比83%)	176円/本(前々年比106%)	220円/本(前々年比111%)	192円/本(前々年比88%)
	切り花	48円/本(前年比96%)	72円/本(前年比97%)	58円/本(前年比84%)	54円/本(前々年比91%)	71円/本(前々年比104%)	52円/本(前々年比104%)
メロン※1		465円/kg(前年比92%)	637円/kg(前年比105%)	561円/kg(前年比83%)	542円/kg(前々年比72%)	785円/kg(前々年比88%)	587円/kg(前々年比93%)
すいか ※1		248円/kg(前年比95%)	268円/kg(前年比110%)	260円/kg(前年比109%)	330円/kg(前々年比104%)	329円/kg(前々年比103%)	293円/kg(前々年比97%)
うんしゅうみかん※1		—	244円/kg(前年比97%)	226円/kg(前年比88%)	—	—	—
牛肉 ※1		1,933円/kg(前年比80%) ※2	2,588円/kg(前年比108%)	2,525円/kg(前年比108%)	2,434円/kg(前々年比98%)	2,585円/kg(前々年比104%)	2,588円/kg(前々年比104%)

※1 資料提供元 花き：JA熊本経済連、熊本県花き園芸農業協同組合 メロン、すいか：JA熊本経済連 うんしゅうみかん：JA熊本市 牛肉：大阪市卸売市場南港市場取扱

※2 新型コロナウイルス感染症の影響が発生し始めた令和2年2月以降は比較対象とはならず、前々年の同月と比較

【制度概要・推移・実績（5月7日現在）】

①農漁業者向け金融支援制度

- ・経営が悪化した農漁業者が今後の経営に支障を来さないよう、5年間の利子全額補助・保証料不要の貸付を実施。

実績（5/7現在）	緊急支援資金	農林漁業セーフティネット資金	合計
申込件数	47件（農業42件、漁業5件）	43件（農業40件、漁業3件）	90件（農業82件、漁業8件）
貸付件数	41件（農業40件、漁業1件）	43件（農業40件、漁業3件）	84件（農業80件、漁業4件）

②販路拡大支援事業

- ・通信販売を活用した熊本産品のキャンペーン「地産地消費フェアオンラインくまもと収穫祭」を開催中。
- ・道の駅すいかの里植木出荷協議会から、市長に「すいか」が贈呈されたことを受け、SNSを活用したトップセールスを実施。

③これまでの取組実績

- ・首都圏期間限定アンテナショップで馬肉を含めた農水産物等の販売を令和3年2月まで実施。
- ・首都圏バイヤー等向けに、東京の飲食店で熊本産品の試食会を開催、熊本からオンラインでトップセールスを実施。
- ・花き等の緊急消費拡大対策 花の魅力のPRについては、「街なか花いっぱい運動」として、市内の公共施設や主要な駅、空港、観光地等で熊本産花きの装飾展示を行うとともに、SNS等を活用した需要喚起。（国の「公共施設等における花きの活用拡大支援事業」を活用し、令和3年2月まで実施）